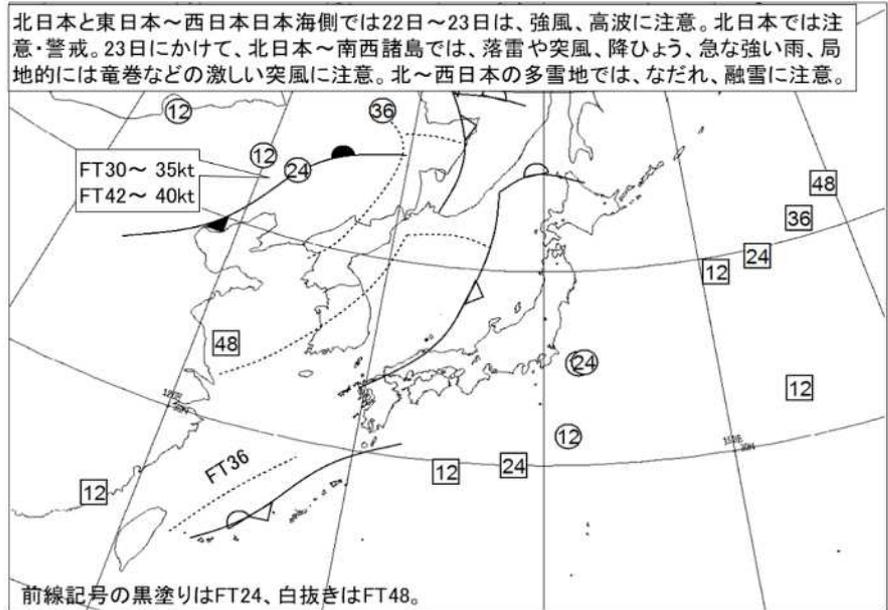


### 1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5520m付近で  $-27^{\circ}\text{C}$ 以下の寒気を伴ったトラフが東日本を通過中。低気圧が関東の東と伊豆諸島付近にあって東進。低気圧に吹き込む暖湿気や上空の寒気の影響で、伊豆諸島と関東地方の沿岸で強い雨や激しい雨を解析、発雷を検知。
- ② 東シナ海は気圧の谷となっており、850hPa 315Kの暖湿気が流入して、南西諸島付近で強い雨や激しい雨を解析。
- ③ モンゴルには、500hPa 5280～5400mのトラフがあって東進。



主要じょう乱解説図

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧周辺では、上空の寒気や低気圧に向かう下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となる。関東地方と伊豆諸島では21日はじめは、落雷や突風、降ひょう、短時間強雨に注意。
- ② 1項②の気圧の谷は、500hPa 5700m付近のトラフの通過と共に一旦不明瞭となるが、次のトラフの接近と共に、22日朝には前線が顕在化する。また、850hPa 312K以上の暖湿気が西～東日本に流入し、大気の状態が非常に不安定となる。南西諸島では23日にかけて、西日本では22日は、東日本では23日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ③ 1項③のトラフに対応した低気圧は21日朝には中国東北区に進み、21日夜には前線を伴って発達しながら北東進して22日夜にはアムール川中流付近へ進む。また、500hPa 5400m付近の強風軸に対応して、22日朝には黄海～朝鮮半島～日本海に前線が顕在化し、寒冷前線が23日日中にかけて、西～北日本を東進する。低気圧や前線に向かって流れ込む下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となる。西～北日本では22日～23日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。
- ④ 2項③の低気圧や前線の影響で、22日～23日は強い風が吹いて、波が高くなり、しける所がある。北日本と東日本～西日本日本海側を中心に22日～23日は、強風、高波に注意。北日本では注意・警戒。
- ⑤ 2項③の低気圧や前線に暖気が流入し、22日～23日の850hPaの気温は、北日本～西日本で平年よりも $10^{\circ}\text{C}$ ～ $15^{\circ}\text{C}$ 程度高くなる。北日本～西日本の多雪地では23日にかけて、なだれ、融雪に注意。
- ⑥ 2項③の寒冷前線の通過する22日～23日は日本付近に黄砂が飛来する可能性がある。今後の実況に留意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

### 4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 降雪量(06時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。
- ③ 波浪(明日まで)：北海道4、北陸・中国 3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。